



インターネットでの情報提供	
提供予定日	2月22日

平成20年2月21日 県政記者クラブ配付資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
総合政策課	総合計画担当	伊藤	2056

2月26日（火）に

長期構想策定に向けた第10回政策討論会を開催します。

—限界集落問題に立ち向かう坂内再生委員会の取組の事例発表、

「建設業」「道路施設の老朽化」についての研究発表—

県では、新たな長期構想の策定に向け、庁内の若手職員からなる「岐阜県の将来構想研究会」を設置し、政策課題の検討を進めており、研究成果を広く県職員はじめ関係者に発表し、討議を行う場として、「政策討論会」を開催しています。

また、研究員をはじめ職員の知見を深め、今後の政策論議に役立てるため、各分野の専門家や実務者を招いた勉強会を開催しているところです。

第10回目の今回は、実務者による事例発表と、研究会の成果発表の2本立てとし、「限界集落問題に立ち向かう坂内再生委員会の取組について」の事例発表、「建設業について」「道路施設の老朽化について」の研究員から研究成果発表を行い、参加者で議論します。

○ 開催概要

(1) 開催日時・場所

日時：平成20年2月26日（火）12:00～14:00

場所：県庁4階防災対策本部外部要員室（特別会議室隣）

(2) 内容

○事例発表（発表、質疑応答含め40分程度）

テーマ：限界集落問題に立ち向かう坂内再生委員会の取組について

発表者：揖斐川町社会教育主事 こぼやし かずたか 小林 一隆 氏

○研究成果プレゼンテーション&フリーディスカッション（1テーマ40分程度）

①建設業について

発表者：将来構想研究員：建設政策課 いけもと てつや 池本 哲哉 主任

②道路施設の老朽化について

発表者：将来構想研究員：建設政策課 たかはし まさひろ 高橋 正博 主任技師

(3) 出席者

○県職員（将来構想研究会メンバーに限らず、自由に参加）等、約70～100名程度
（プレス関係者の取材、討議への参加も自由）